

あきた労福協

2023年1月1日

No.149

発行所／秋 田 県 労 働 福 祉 協 議 会
発行責任者 高 橋 暢 嘉
秋田市中通6丁目7-36フォーラムアキタ内
TEL:018-833-1875・FAX:833-0506
ホームページ <http://akita.rofuku.net/>



謹賀新年

すべての働く人の幸せと豊かさを



秋田県労働福祉協議会
会長 才村 泰彦

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、ロシアのウクライナ侵攻により「平和と人権」が脅かされる事態となりました。加えて、戦争による原油や穀物等の価格高騰と急激な円安に伴う「物価上昇」が、私たちの生活を直撃しました。

県内でも、長引くコロナ禍もあいまって「格差」や「貧困」は拡大しており、特に不安定な雇用に置かれる女性や若者、奨学金とアルバイトで生計を立てている学生など「弱い立場」の人たちが一層厳しい状況に置かれています。

そのような中、労働福祉団体や構成組織の皆さんからは、自治体への政策・制度要請やチャリティイベント、フードドライブ等、労福協運動の原点となる「助け合い」「支え合い」の取り組みに、これまで以上にご尽力を頂きました。

内外ともに先の見えない困難な状況が想定されますが、こんな時だからこそ労働者福祉運動と労働運動が一体となって『共助の輪』を広げ、「貧困」や「格差」のない『寛容な社会』の実現に向け、役割を果たしていかななくてはなりません。

秋田労福協は、これからも「福祉はひとつ」を合い言葉に、NPOなど市民団体の皆さんとも連携を強め「すべての働く人の幸せと豊かさ」をめざして活動を展開してまいります。

結びになりますが、皆様のご健勝と益々のご活躍を祈念し、年頭の挨拶といたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新年あけまして

おめでとうございます。

皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのことと思われま。

今年の干支は「卯（うさぎ）」。うさぎは走る、とび跳ねるイメージを持った小動物です。ウサギのごとく、現在の物価高騰やコロナ禍をハネ退け、景気回復の年になる事を切に願います。私自身も年男（還暦）です。厄を払い、ウィルスも撃退して、暮らしやすい世の中になるよう、何事にも取り組んでまいります。

コロナ禍の状況はまだまだ継続しますが、労福協の原点である「福祉はひとつ」を基本に、そして「今こそ労福協の力を。」を合言葉に、加盟団体と結集し積極的な活動を展開します。皆様の変わらぬご支援、ご協力を宜しくお願い致します。（事務局長）





迎春

労働者福祉中央協議会
会 長 芳 野 友 子

新年明けましておめでとうございます。

2020年初頭から始まった新型コロナウイルス感染症の拡大による経済・社会・国民生活への影響は現在も続いています。世界に目を向けると、ロシアのウクライナ侵攻による平和問題や物価上昇、気候危機など、先行き不透明な状況に置かれています。一人ひとりが意識を変え、小さなことでも行動に移していくことが必要です。「誰ひとり取り残さない」包摂的で持続可能な社会を実現するために、取り組みを進めていきましょう。

私たちは今、目まぐるしく状況が変化する社会の中で、様々な課題への対応に迫られています。これまでの運動で培ってきた経験や、助け合い、支えあいの精神を糧に、時代に即した運動スタイルを取り入れてポストコロナ社会を見据えた運動に取り組んでいかなければなりません。「2030年ビジョン」の実現にむけて、労福協、労働団体、福祉事業団体がこれまで以上に連携を深め、一丸となって取り組みを進めていきましょう。



恭賀新年

東北労働金庫秋田県本部
本部長 黒 崎 保 樹

新年明けましておめでとうございます。

構成組織の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は東北労働金庫に対し格別なるご支援、ご協力を賜りましたことに心より感謝とお礼を申し上げます。

我々を取り巻く環境は「新型コロナウイルス感染症への対応」「物価高騰」「少子高齢化・人口減少・老後資金問題」等により大きく変化しようとしています。

東北労金では、これらの環境の変化に対応した「生活応援運動」を推進するとともに、「誰一人取り残さない金融包摂」の実現をめざしております。東北労金はこれらの取り組みを通じ、日本で唯一の福祉金融機関として、これからも働く皆様の生活の支えとなるよう事業推進に取り組んでまいります。

本年が労福協に結集する皆様にとりまして実り多い年となりますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

第9回 フードドライブ活動



お米の寄贈 226kg



第9回フードドライブキャンペーンを2022年10月11日(火)～21日(金)の期間で開催した。米を中心に581点337kgの食料品が集まり、フードバンク事業を行っている「フードバンクあきた」

「たすけあいネットあゆむ」の2団体へ寄贈した。
たくさんのご支援ありがとうございました。



フードドライブとは？

各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、それらをまとめてフードバンク団体や地域の福祉施設・団体などに寄贈する活動です。



謹賀新春

こくみん共済 coop
秋田推進本部
本部長 羽澤 斉志

明けましておめでとうございます。

労福協に結集された各構成組織の皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新ブランド「こくみん共済 coop」がスタートして3年6カ月が経過し、2022年度からは新しい「中期経営政策2025」もスタートしています。全国一の高齢・人口減少県である秋田県が当面する一番の課題は、ひと・いえ・くるまのマーケットの縮小です。これまで以上に、組合員の皆さまとの関係を、太く・強くしていただいて、すべての保障のメインを「こくみん共済 coop」にさせていただく、そうした組合員に寄り添う事業と運動を展開してまいります。

本年も、「たすけあい」の心を大切にする信頼できる保障の生協として、皆さまの生活安定・向上に寄与できるよう、役職員一丸となって努力してまいりますので、変わらぬご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

一日も早く新型コロナウイルス感染症が終息し、新しい年が皆さまにとりまして実り多い一年になりますことをご祈念申し上げ、年頭のあいさついたします。



新春来福

一般財団法人
秋田県労働会館
専務理事 渡邊 幸則

新年あけましておめでとうございます。

労福協の各構成組織の皆様におかれましては、おすこやかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、公益目的事業「ライフサポートセンターあきた」の活動に対するご理解とご支援に感謝申し上げます。そして、秋田県労働会館「フォーラムアキタ」をご利用いただき誠にありがとうございます。

コロナ禍が社会に及ぼした影響は大きいものの、ワクチン接種や経済活動は再開に向かうなど、立て直す動きが進んでいます。しかし、未だに大きく影響を受けている弱い立場の人たちからのライフサポートセンターあきたへの相談件数は多い傾向が続いています。「暮らしなんでも相談」は周知の拡大を図り、社会保険労務士も加わってより充実した取り組みをしてまいります。

そして、秋田県労働会館は、職員一同、より一層のサービス提供に努力してまいります。多くの皆様、団体様のご利用をお願いいたします。

皆様に実り多い年になりますことをご祈念し年頭のあいさついたします。



寄付金贈呈 福祉団体・フードバンク団体へ



12月14日（水）フォーラムアキタにて9月に行われたチャリティゴルフ大会で集まった、協賛広告代・カンパ金を各福祉団体・フードバンク団体へ寄付金として贈呈するチャリティ金贈呈式を行った。贈呈式には11団体が参加し、寄付金を受け取り「大切に使用させていただきます」とお礼の言葉が述べられた。



【寄付金を贈呈した
福祉団体代表者】

【寄付金贈呈先】

- ・秋田災害遺児愛護基金事業
- ・秋田県身体障害者スキー協会
- ・あしなが育英会
- ・秋田いなほ福祉会

- ・やすらぎの家
- ・くだけけ寮
- ・自立支援センターほのぼの
- ・子育て応援 Seed
- ・ライフサポートセンターあきた

- ・フードバンクあきた
- ・たすけあいネットあゆむ

協賛・カンパのご協力
ありがとうございました





地区労働福祉協議会



大館鹿角地区労働福祉協議会 会長 山内 一滋

あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症との闘いは3年となりますが、今もなお感染拡大が繰り返され、終息の目途は立たず、より弱い立場の人からは「どうやって生きていけばいいのか」という悲痛な声が寄せられています。コロナ禍でこの国のセーフティーネットの脆弱性があらためて浮き彫りとなりました。将来不安に覆われ、格差と貧困が拡大し続けるこの社会を変えなければなりません。私たちは、不条理を許さず、「貧困や社会的排除がなく、人と人との関係性が大切にされ、平和で安心して働き、暮らせる持続可能な社会」の実現にむけ、引き続き中央・県・各地区労福協と連帯し、新しい繋がりへアプローチするための取り組みを強めたいと考えております。ともに頑張りましょう。【大館クリーンアップ(下)】



【4.29大館鹿角地区メーデー】



男鹿潟上南秋地区労働福祉協議会 会長 太田 修

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、コロナワクチン接種が進み、共存の道を模索していましたが、第六波、第七波、12月に第八波と収束が見通せない中、コロナ対策を実施しながら歩は遅いものの、前進している実感もありました。

自然災害において、全国的に猛威を振るった集中豪雨で、秋田県も甚大な被害を受けました。

今年は、コロナ収束を信じ、安全、安心を優先しながら、皆様の充実した生活ができるよう、活動を推進して参りますので、引き続きのご支援を宜しくお願い申し上げます。

新年おめでとうございます。

あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

旧年中、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、皆様からは、秋田地区労福協の様々な運動をお支えいただきましたこと、心から感謝申し上げます。

さて、2015年に国連が策定したSDGsの取組がメディアでも取り上げられる機会が増え、労働福祉運動にも共通点が多いこの取組が国民的な運動として広がってきました。「誰ひとり取り残さない持続可能な社会をつくる」という理念のもと、その実現に向けた17の開発目標が示されています。

私たちの国においても、これらに関連する数々の深刻な課題が横たわっています。経済成長や労働生産性の向上にまったく連動せず賃金が据え置かれ格差と貧困が拡大していること、男女平等が大きく遅れていること、日々の世界の食糧支援量が390万tに対し日本では毎日640万tが廃棄されていること、地域別の最低賃金など格差形成を助長する社会の仕組み、国民の合意形成をないがしろにした軍拡などです。

労働福祉の運動は、基本理念である助け合いの精神のもと、こうした諸課題について働く者や生活者の目線であるべき姿を求め、解決に向け取り組むものと思います。地区労福協の活動を通じ、地域で暮らす全ての皆さんが様々な立場を越えてお互いを思いやり、助け合う絆を大きく広げていけるよう、共に頑張りましょう。

引き続き皆様からのご支援とご協力をくださいますようお願いいたします。



【秋田地区・男鹿地区合同開催】『スポーツ交流会』

能代山本地区労働福祉協議会
会 長 小笠原 勝太

謹んで新春のお慶び申し上げます。

旧年中は能代山本地区労働福祉協議会の活動に対しまして、皆さまからご支援・ご協力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の発生から3年が経過するとともに、2月に発生をしたロシアによるウクライナへの軍事侵攻により、私たちの活動のみならず、生活に様々な影響を及ぼしております。

あらためて、コミュニケーションと「思いやり」の重要性を実感したところであります。

本年も「すべての働く人の幸せと豊かさ」「安心・共生の福祉社会」に向け、地区労働福祉協議会としての責任と役割を自覚し、地域・関係機関と連携のうえ、活動を展開してまいります。

本年も引き続き皆さまからのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



大曲仙北地区労働福祉協議会
会 長 鈴木 幹

新年あけましておめでとうございます。

新年あけましておめでとうございます。旧年中は、大曲仙北地区労働福祉協議会の活動にご協力を頂き、ありがとうございます。

この間の社会システムの動揺により、経済的な弱者の方々が生活に困窮しております。子どもや困窮世帯等に食料支援を行うのがフードドライブ活動です。皆様から頂きました食料品をお届けしてまいりますので、今後も実施していきたいと思っております。引き続き、皆様からのご支援とご協力を頂けますよう、お願い致します。



本荘由利地区労働福祉協議会
会 長 佐藤 武彦

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、本荘由利地区労働福祉協議会の活動に対しましてご支援、ご協力頂きました事、心より感謝申し上げます。

昨年は二月に起きましたロシアによるウクライナ侵攻で拍車がかかる食料品、燃料等の値上がり、また年の後半は急激な円安による物価上昇などにより私たちの生活環境は大変厳しい状況ではございますが、今後も地区労働福祉協として労働者福祉の向上に向けてより多くの方々が参加し喜んでいただける運動を目指して行きたいと思っております。

横手平鹿地区労働福祉協議会
会 長 齊藤 斉

明けましておめでとうございます。

皆様、年末年始はいかがお過ごしでしょうか。

さて、長引くコロナ禍の影響が続いている中、ロシアのウクライナ侵攻により物価の高騰が、働く仲間の生活者に大きな影響を及ぼし、今後、益々、貧困の格差の広がりが懸念されます。生活困窮者、並びに貧困の問題・『助け合い・支え合い』の共助拡大を、労働組合のみならず、地域の中はどう広げて行く事が出来るのか、労働福祉協の社会的存在を高めるためにも、横手平鹿地区労働福祉協として継続した取り組みを進めて参ります。

湯沢雄勝地区労働福祉協議会
会 長 門田 実

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、コロナ対応と行き過ぎた物価高騰・並びに少子高齢化社会や大規模災害の発生などなど、私たちを取り巻く環境が更に大きく変化している中、『助け合い』の考え方や仕組みを通して、労働福祉協・労働金庫・こくみん共済 coop の三者との連携は大変重要と考えております。私たち勤労者の生活に大きく影響する労働者自主福祉運動を、湯沢雄勝地区労働福祉協議会として、さらに充実した取り組みを進めて参ります。



第4回 労福協ライフプランセミナー

11月11日(金)秋田地区労働福祉協議会との共催でフォーラムアキタにおいて開催し、64名が参加した。講演Ⅰでは「労働者自主福祉運動の意義と役割」と題し、秋田労福協の石井推進役より、労福協・労金・こくみん共済coopの歴史や、労働者福祉運動の意義と重要性について講演された。

講演Ⅱでは「知っておきたい今どきの働き方改革」と題し、社会保険労務士の大泉三三男氏より、2019年4月から順次施行された「働き方改革」に関連したパパ育休の内容や社会保険、年金の仕組みなど各種法令の改正とポイントについて講演いただいた。

講演Ⅰ 石井推進役



講演Ⅱ 大泉氏



【セミナー終了後のアンケート回答】



労福協運動の大切さ及び組合員への周知の必要性を感じた。(50代男性)



年金制度について特に参考になりました。(30代男性)



自分の知らない所で多くの法改正が行われており、学習不足を痛感した。自分がこれから関わってくるポイントを学ぶことが出来て良かった。(50代女性)



パワハラについて学ぶことができ、結婚から老後までのライフプランを見直すきっかけになった。(20代男性)



「働き方改革」と言われてきたが、詳しい背景を知らなかった。生産年齢人口に含まれる人の育児や介護による離職率を減らすために改正されたと知った。職場内でも休業を取りやすい環境を第一に取り組む必要があると感じた。(20代男性)



「働き方改革」の仕組みを聞くセミナー参加者



2022年度秋田労福協研究集会

12月12日(月)フォーラムアキタにおいて43名が参加し、秋田労福協研究集会を開催した。「困難を希望に変える力〜3.11からのことづて〜」と題し、東日本大震災の経験・被災地で懸命に生きる人々の姿やエピソード、10年経った今の被災者の思いなど、フリーアナウンサーで3.11語りつぐ会代表の、渡辺祥子氏より講演をいただいた。



当たり前の大切さ

奇跡のような、
ありがたい(有り難い)毎日



3.11語りつぐ会代表
講師 渡辺祥子氏

ライフサポートセンターあきた

《暮らしなんでも相談》



0120-980-669

ひとりで悩まず、まずはお気軽にお電話ください！
相談アドバイザー『大泉』がお話をお聞きします。



困ったな・・・
どこに相談したら
いいのかな・・・

そんな時は、
ライフサポートセンター
あきたへご相談下さい！



きょうちゃん全ページで
何頭いたか数えてみてね☆



もう悩まないで！
奨学金返済
Q&A

奨学金の返済に悩んでいるあなたへ
奨学金問題に詳しい岩瀬佳治弁護士監修のもと、
奨学金返済Q&Aガイドブックを作成しました。
さまざまな返済制度、法的返済権限などについて
わかりやすく解説しています。

コチラのQRコードから
ガイドブックが見られるよ！

ひとりで悩まず、気軽に相談してください！

社会保険労務士もお応えします（相談日限定）
社会保険労務士の権限は
お問い合わせ下さい

秘密厳守
だから安心して
ご相談いただけます。

暮らし
なんでも
相談

相談無料
※専門業務に限定する
場合は、別途料金
がかかります。

労働問題、生活、生活保護、
福祉、法律、税金などの
相談受け付けます
気軽に相談に行こう！

日常生活で起こる様々なトラブルや悩み事、困ったことなどの解決策を一緒に考えます。

お気軽にご相談ください！

0120-980-669

相談受付 平日（土・日・祝祭日も除く） 相談時間 午前10時～午後5時
※この時間以外に、アドバイザーとの面談も可能となります。

ライフサポートセンターあきた
フォーラムアキタ労働会館
〒010-0001 秋田市中通5丁目7-305 フォーラムアキタ内

【相談対象】 秋田県内各地域の労働者、東北労働会館秋田県本部、こくじん相談 room 秋田県本部、道庁秋田
【協力】 秋田県、秋田市、秋田県社会福祉協議会、秋田労働会、秋田労働者会、秋田県労務士会、秋田県労務士会
東北労働士会秋田支部、秋田労働会館、秋田県労務士会、秋田県労務士会、秋田県労務士会、秋田県労務士会



お知らせ

「2023年度労働者福祉に関する政策制度要請」を知事に提示予定！

日時 2023年1月19日(木) 16:45 場所「県庁」

税務署確定申告の相談及び申告受付

期間 2023年2月16日(木)～3月16日(木)予定

会場 秋田県労働会館「フォーラムアキタ」

☎ 018-833-2335（市民市場近く）

*秋田南税務署

TEL: (018)832-4121

*秋田北税務署

TEL: (018)845-1161



フレイクタイム 頭の体操

あるなしクイズ

ある[午後・インク・肉]

なし[午前・絵具・魚]

では！西は ある？ない？(答えは8ページ)



[ヒント]

声に出して
みてね！

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

卯年は飛躍の年と言われています。

株価も上がり、給料も上がり、物価高などの
心配をせず平穏な日常を過ごせる年になり
ますように。(G. N)



謹んで新春の お慶びを申し上げます

社会・経済情勢が大きく変化する中で
組合員の働き方やライフスタイルの多様化が進んでいます。
こうした時代だからこそ
ろうきんは労働組合との連帯をさらに強固にし
最も身近で信頼される存在として
組合員みなさまに寄り添い
生涯にわたり力強くサポートしてまいります。
誰ひとり取り残さない金融サービスを
これからもずっと。



東北労働金庫秋田県本部

〒010-0951

秋田市山王4-4-13 ☎ 018(866)1315

<https://www.tohoku-rokin.or.jp>



謹んで新春のお慶びを 申し上げます



カーライフを応援する、頼れる補償

マイカー共済

自動車総合補償共済

WEBでの加入OK!



選ばれ
続けて
います!

契約件数 (2022年5月現在)

219万件

安心のサポート体制と充実の補償が魅力。

最大 **22等級**で

掛金64%割引

安全運転な方ほど掛金の負担が少なくなります。

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済

全国労働者共済生活協同組合連合会

秋田推進本部

(秋田県労働者共済生活協同組合)

〒010-0817 秋田市泉管野1-1-12

018-824-6031

秋田県の共済ショップの
くわしい情報は、
HPをご確認ください



「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。